

令和3年度 学校経営計画及び学校評価

1 めざす学校像

「誠実明朗」「自主創造」「友情協力」の校訓のもと、明るく健康で、自らを高め、他人を尊重する人間性豊かな人格の形成をめざす。生徒と教職員との信頼関係をもとにした専門教育を通じて、勤労と責任を重んじ、幅広い技術をそなえた社会人を育成する。

- 1 基礎学力と専門的な技能・技術を修得し、社会の中で主体的に生きる力を育てる。
- 2 協調性、規範意識を身につけ、周囲から求められる社会人を育てる。
- 3 地域社会の中での存在意識を高め、生徒が誇りをもてる学校づくりを進める。

2 中期的目標

- 1 社会の中で主体的に生きる力を育てる
 - (1) 基礎的・基本的な学力の育成
 - ア ICT活用（新型コロナウイルス感染症に対する長期的な対応を含む）を進め、基礎学力の充実を図る。
 - イ 授業内容・授業形態の工夫により授業改善を図り、確かな学力を身につけさせる。
 ※生徒向け学校教育自己診断における「授業に関する満足度」の肯定率80%以上をめざす。(H30年度83.0%、R01年度81.8%、R02年度64.1%)
 - (2) 資格取得に対する意欲を高め、主体的に自己の将来を切り拓く能力を育成。
 - ア 各種の資格取得を勧め、学習意欲の喚起と有用な技能取得を図る。
 ※卒業生の資格取得率100%（一人一つ以上）を維持する。(H30年度94.1%、R01年度100%、R02年度100%)
 - (3) 在学中の就労を促進するとともに、生徒の希望する進路実現の支援体制の充実。
 - ア 未就労生徒に対して、個別指導と個別支援による就労促進を行う。
 - イ キャリア教育、職業教育を充実させ、社会で自立できる力を育成する。
 - ウ 自己の個性や適性を理解し、主体的に進路を選択する能力や態度を育成する。
 ※学校斡旋就職を支援し、正規就職希望者90%以上、就職内定率100%を維持する。
(正規就職希望者 H30年度93.3%、R01年度100%、R02年度100% / 就職内定率 H30年度100%、R01年度100%、R02年度100%)
- 2 周囲から尊敬される社会人を育てる
 - (1) 授業規律の確立
 - ア 組織的な指導体制により、良好な学習環境と授業規律の確立を図る。
 ※生徒向け学校教育自己診断における「良好な学習環境」の肯定率80%以上をめざす。(H30年度77.5%、R01年度75.0%、R02年度76.9%)
 - (2) 協調性や社会性の育成
 - ア 魅力ある学校行事、部活動を振興し、学校生活の魅力を高め、集団活動への参加促進を図る。
 - イ SNS等インターネット上や学校生活及び感染症に起因する偏見や差別を許さない人権を尊重する教育を推進する。
 ※1年次生の進級率70%以上をめざす。(H30年度92.3%、R01年度61.5%、R02年度87.5%)
- 3 誇りをもてる学校づくり
 - (1) 地域連携を進め、学校への高い評価を獲得
 - ア 地域活動・公開講座の実施など、地域から見える特色ある学校の取組みを推進する。
 ※生徒向け学校教育自己診断「授業や部活動などで保護者や地域の人々が参加される機会がある」における肯定率70%以上をめざす。
(H30年度63.4%、R01年度69.4%、R02年度参加機会なし)
 - (2) 広報活動により、学校の取組みを広く伝える
 - ア 学校ホームページの充実、地域への広報を積極的に展開する。
 ※学校見学会、公開講座等への参加者について、年間延べ50名以上を維持する。(H30年度54名、R01年度60名、R02年度評価せず)
 - (3) 人材育成により、優れた教育の提供
 - ア 生徒のニーズに合致した、特色ある教育課程と優れた指導体制づくり。
 ※保護者向け学校教育自己診断における「本校の特色ある取組み」の肯定率90%以上を維持する。(H30年度91.7%、R01年度85.7%、R02年度100%)
※新教育課程（R04年度より実施）による指導体制の確立をめざす。
- 4 働き方改革への取組み
 - (1) 分掌・委員会等の会議の目的を明確化し効率を図る
 - ア 会議資料のデータ化、ICT活用による効率的な運営を図る。
 - (2) 定時退庁の促進、一斉閉庁日の活用ならびに有効な休暇取得の促進
 - ア 教職員の業務の負担軽減化・分散化を図り、健康増進・ストレス軽減に向け、働きやすい職場環境を実現する。
 - イ 各種ハラスメント防止に対する意識の啓発を図る。

【学校教育自己診断の結果と分析・学校運営協議会からの意見】

学校教育自己診断の結果と分析 [令和3年12月実施分]	学校運営協議会からの意見
○学校教育自己診断について *肯定率等(%)R01→R02→R03 「◎」「○」「△」は、数値または変化に対する学校の評価 1 学校生活 ・この学校は他の学校にない特色がある 67.5→79.5→88.4(◎) ・授業はわかりやすく楽しい 81.8→64.1→67.6(△) ※すべての生徒に対応できる授業改善の取組を恒常的に行う。 2 学習指導 ・授業で自分の考えをまとめ発表する機会がある 63.1→64.1→55.9(△)	第1回(令和3年6月18日書面開催) ・年間行事予定について、制約がある中で工夫されている。無事に取り組めることを願う。 ・新型コロナウイルスの感染者が校内で発生していないことを評価します。 ・進路に関して、全員の希望が叶うよう丁寧な指導を継続してほしい。 ・良き社会人の育成に向けて一人ひとりを大切に指導し、将来の社会生活への意識が高まるよう取り組んでほしい。 ・マスク着用が必須となるので、昨年に続き「熱中症対策」に重点をおいて

府立茨木工科高等学校 定時制の課程

<p>・教え方を工夫している先生が多い 78.9→77.0→52.9(△)</p> <p>・ビデオなどの視聴覚機器やコンピュータを使う機会がある 83.8→89.7→85.3(○)</p> <p>※1人1台端末の利活用及び授業改善を図る。生徒が主体的に授業に参加するための工夫について、継続して取り組む。</p> <p>3 生徒指導</p> <p>・先生はお互いに協力し合い、責任をもって授業やその他の仕事に当たっている。 91.9→76.9→88.2(◎)</p> <p>※新型コロナウイルス感染症の影響を受け、行事に制限を設けたことが、生徒の活動意欲を減少させる結果となっている。しかしながら、授業・行事等に対して、教職員が一丸となって取り組む姿勢は維持できている。</p> <p>4 進路指導</p> <p>・将来の進路や生き方について考える機会がある 79.0→76.9→47.1(△)</p> <p>・学校は進路についての情報を提供している 83.8→84.6→88.2(○)</p> <p>※キャリア教育を中心に据えた進路指導、個に応じた指導の再構築を図る。</p> <p>5 その他</p> <p>・学校で事件・地震や火災などが起こった場合、どう行動したらよいか知らされている 86.5→66.7→79.4(○)</p> <p>・【保護者】学校は保護者や地域の人が授業に参加する機会を設けている 83.4→77.7→評価せず</p> <p>・【保護者】この学校の授業参観や学校行事に参加したことがある 62.5→評価せず→評価せず</p>	<p>ください。</p> <p>第2回（令和3年12月3日）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・在籍数が減少し全体的に落ち着いた（大人しい、礼儀正しいなど）印象だが、以前のような活気がなくなっていると感じている。 ・ウイルスは変異するため、ワクチン接種情報などについて、アンケート形式をとるなど個人情報に注意して、可能な範囲で確認しておくことが望ましい。 ・現代社会はパソコンの活用が常態化してきているので、学校もペーパーレスに移行すべきと考える。 ・国内外を問わず、資格取得の重要性について指導をお願いしたい。 <p>第3回（令和4年2月4日）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・働く若者は、「目標の提示で動いた時代」から「目的に納得したうえで動く時代」へと変化しているように感じている。説明が求められる学校も同様に感じる。 ・今の時代だからこそ、生徒に丁寧に対応できる学校は存在価値があると考えられる。これからも生徒に寄り添った教育をお願いします。 ・資格取得の講習等、在学中のご指導に感謝しています。 ・就職指導等、学校の協力に感謝しています。保護者は4年間の頑張りが実ることを願っています。
--	---

3 本年度の取組内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標[R2年度値]	自己評価
1 社会の中で主体的に生きる力を育てる	<p>(1) 基礎的・基本的な学力の育成</p> <p>ア ICT の効果的な活用と基礎学力の充実</p> <p>イ 授業改善による確かな学力の獲得</p> <p>(2) 資格取得に対する意欲を高め、自己の将来を切り拓く能力の育成</p> <p>ア 各種の資格取得を勧め、学習意欲の喚起と有用な技能取得を図る。</p> <p>(3) 正規就職の拡大</p> <p>ア 個別の指導・支援による就労指導</p>	<p>(1)</p> <p>ア①ICT 機器等の活用により、主体的・対話的な授業となるよう授業改善を行う。また、教材の共有化を図り、授業準備等の業務負担軽減を行う。</p> <p>②授業における確認テスト等を実施し、基礎学力の定着をめざす。</p> <p>イ①わかる授業・できる授業をめざし、視聴覚教材を活用し、生徒の学習意欲を持たせる授業を行う。</p> <p>(2)</p> <p>ア①溶接技術、CAD、計算技術等、授業内容と関連した資格取得への指導（講習・個別指導）を充実させる。</p> <p>②3級自動車整備士試験合格をめざす。（対象1名）</p> <p>(3)</p> <p>ア①求人開拓、個別指導を継続的に実施・強化し、正規就職できるよう支援を行う。</p> <p>②将来のキャリアを見通した進学指導を行う。</p>	<p>(1)</p> <p>ア①生徒向け学校教育自己診断「ICT を用いた授業が実施できている」における肯定率 80%以上を維持する。[89.7%]</p> <p>②生徒向け学校教育自己診断「授業が楽しく分かりやすい」における肯定率 80%以上をめざす。[64.1%]</p> <p>イ①教員向け学校教育自己診断「思考力を重視した問題解決的な学習指導を行っている」における肯定率 70%以上をめざす。[64.0%]</p> <p>・教員向け学校教育自己診断「生徒の学習意欲に応じて、学習指導の方法や内容について工夫している」における肯定率 90%以上をめざす。[84.0%]</p> <p>(2)</p> <p>ア①各種資格取得を奨励し、資格取得生徒の増加を図る。卒業年次の生徒の 100%を維持する。[100%]</p> <p>②3級自動車整備士試験合格をめざす。 [対象なし]</p> <p>(3)</p> <p>ア①応募前職場見学 100%維持 [100%]</p> <p>・正規就職希望者 80%以上 [100%]</p> <p>・就職内定率 90%以上 [100%]</p> <p>②進学希望者の合格率 80%以上 [対象なし]</p>	<p>(1)</p> <p>ア①生徒向け学校教育自己診断の肯定率は 85.3%(○)</p> <p>9月に1人1台端末が配布され、ICT を用いた授業頻度が高まっている。教員用端末の整備を継続したい。</p> <p>②生徒向け学校教育自己診断の肯定率は 67.6%(△)</p> <p>授業の振り返りにより学力の定着を図る。</p> <p>イ①教員向け学校教育自己診断の肯定率は 76.2%(◎)</p> <p>・教員向け学校教育自己診断の肯定率は 100%(◎)</p> <p>生徒(52.9%)と教員(100%)の顕著な差を受け止め、授業改善を図る。</p> <p>(2)</p> <p>ア①卒業年次生の生徒の資格取得率は 100%(◎)</p> <p>資格の複数取得に向けた指導を継続。</p> <p>②3級自動車整備士試験 1名受験：1名合格 (◎)</p> <p>(3)</p> <p>ア①応募前職場見学 100%(◎)</p> <p>・正規就職希望者 100%(◎)</p> <p>・就職内定率 89.0%(○)</p> <p>②進学希望者の合格率 100%(3名) (◎)</p>
2 周囲から尊敬される	<p>(1) 授業規律の確立</p> <p>ア 組織的な指導体制と良好な学習環境、授業規律の確立</p> <p>イ 生徒が主体的に授業に参加し、集中して取り組む姿勢を育成</p>	<p>(1)</p> <p>ア①全教職員による生活指導体制を確立し、良好な学習環境を維持する。</p> <p>②規範意識、社会性育成のための講座、ICT 機器の利活用を通して情報活用能力等を養成し、社会人としてのマナーやモラルを主体的に身に付けさせる。</p> <p>③高校生活支援カードを活用し、家庭及び中学校・外部機関との連携を深め、きめ細かい支援体制を充実し、学校生活に定着させる。また、学校訪問等により教育内容を周知させる。</p>	<p>(1)</p> <p>ア①生徒向け学校教育自己診断「教室・特別教室・運動場などは授業や生活がしやすいように整備されている」における肯定率 80%以上をめざす。[76.9%]</p> <p>②生徒向け学校教育自己診断「先生は責任をもって授業やその他の仕事に当たっている」における肯定率 90%以上をめざす。 [76.9%]</p> <p>・生徒向け学校教育自己診断「授業などで、豊かな心や人の生き方について考える機会がある」における肯定率 80%以上をめざす。 [77.1%]</p> <p>③中高連絡会参加、学校訪問 25 校以上を維持する。 [35 校]</p>	<p>(1)</p> <p>ア①生徒向け学校教育自己診断の肯定率は 67.6%(△)</p> <p>授業規律を確立し、生徒が安心して授業を受けられる環境を整える。</p> <p>②生徒向け学校教育自己診断の肯定率は 88.2%(○)</p> <p>次年度も教材研究、授業改善に対する研鑽を図る。</p> <p>・生徒向け学校教育自己診断の肯定率は 47.1%(△)</p> <p>学校生活(LHR 等)を通して、豊かな心や生き方を考える機会を設ける。</p> <p>③中高連絡会 5 校参加、学校訪問 35 校、合計 40 校で目標値を上回った。(○)</p>

府立茨木工科高等学校 定時制の課程

<p>る 社 会 人 を 育 て る</p>	<p>(2) 協調性や社会性の育成 ア 学校生活の魅力高め、集団生活への参加を促進 イ 偏見や差別を許さない人権尊重の教育を推進。</p>	<p>イ①授業中の発表や話し合いの機会を多くする。 (2) ア①部活動を活性化し、積極的な参加を促す。 ②生徒秋季発表大会への参加を通して、生徒の能力を引き出す。 イ①日々の指導の中で、学校内外における人権尊重の意識を醸成する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・欠席の多い生徒(年間 30 日以上) 8 名以下 [5 名] ・年間退学者 7 名以内 [5 名] ・懲戒件数 5 件以下 [4 件] ・1 年次生の進級率 [87.5%] <p>イ①生徒向け学校教育自己診断「授業で自分の考えをまとめたり、発表したりする機会がある」における肯定率 60%以上を維持する。 [64.1%]</p> <p>(2) ア①生徒向け学校教育自己診断「部活動に積極的に取り組んでいる」における肯定率 60%以上をめざす。 [56.5%]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動部においては、定通実業総体出場をめざす。 [感染症拡大により中止] <p>②秋季発表大会の参加を維持する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活体験発表 [不参加] ・舞台発表 [不参加] ・展示発表 [写真部出展] <p>イ①生徒向け学校教育自己診断「人権について学ぶ機会がある」の肯定率 80%以上をめざす。 [74.3%]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者向け学校教育自己診断「学校ははじめや暴力のない学校づくりに取り組んでいる」における肯定率 100%を維持する。 [100%] 	<p>次年度も定時制高校に対する理解を深められるように取組を継続する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・欠席の多い生徒 14 名(△) ・年間退学者数 1 名(◎) ・懲戒件数 1 件(◎) ・1 年次生の進級率 87.5%(◎) <p>イ①生徒向け学校教育自己診断の肯定率は 55.9%(△) 授業展開等を見直し生徒発信の機会を増やす。</p> <p>(2) ア①生徒向け学校教育自己診断の肯定率は 35.3%(△) 在籍数減少により部活動が低調となっているが、活動できる環境を維持する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定通実業総体は不参加(△) <p>②秋季発表大会 生活体験発表、舞台発表は不参加 展示発表に写真部 3 名が出展し、大阪府議会議長賞を受賞。(◎)</p> <p>イ①生徒向け学校教育自己診断の肯定率は 58.8%(△) 日常の学校生活を通じた指導機会の充実を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者向け学校教育自己診断の肯定率は 89.5%(○) 人権について学ぶ機会を設け、信頼される学校づくりにめざす。
<p>3 誇 り を も て る 学 校 づ く り</p>	<p>(1) 地域連携の促進 ア 地域から見える特色ある学校の取組みを推進。 (2) 広報活動の展開 ア 学校の特色を広く伝える活動を展開。 (3) 優れた教育環境の提供 ア 生徒のニーズに合致した特色ある教育課程と指導体制づくり。 イ 安全安心な学校づくり</p>	<p>(1) ア①生徒会活動を伴う地域連携活動の模索。 ②小学生対象の「夏休み工作教室」の実施。 ③市内幼稚園・保育所(園)等への実習作品の寄贈を継続する。 (2) ア①学校行事を保護者ならびに地域に公開し、広報活動を展開する。 ②保護者・生徒のニーズに合致した学校ホームページの改善。 (3) ア①工業系科目の充実を図り、生徒が意欲をもって取り組める教育課程の編成を進める。 ②校内授業相互見学、研究授業参加、専門研修派遣を実施し、授業力向上と指導内容の改善を図り、優れた学習環境をめざす。 ③各種会議等を通して、生徒状況の把握をし、授業改善をめざす。 イ①防犯・防災訓練、交通安全教室等の実施 ②校内安全点検の実施</p>	<p>(1) ア①生徒向け学校教育自己診断「授業や部活動などで保護者や地域の人々が参加される機会がある」における肯定率 70%以上をめざす。 [感染症拡大により参加機会なし]</p> <p>②「夏休み工作教室」の参加者 20 名以上。 [感染症拡大により工作教室中止]</p> <p>③実習作品の寄贈 5 件以上を維持。 [7 件]</p> <p>(2) ア①学校行事(体育祭・文化祭)等への保護者・地域住民の参加者延べ 50 名以上を維持する。 [感染症拡大により参加機会なし]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者向け学校教育自己診断「授業参観などの学校行事に参加した」における肯定率 70%以上をめざす。 [感染症拡大により参加機会なし] <p>②ホームページ更新(教員・准校長ブログ発信を含む)による情報発信年間 80 回以上を維持する。 [105 回]</p> <p>(3) ア①生徒向け学校教育自己診断「この学校には、他の学校にない特色がある」における肯定率 85%以上をめざす。 [79.5%]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者向け学校教育自己診断「この学校は、他の学校にない特色ある教育活動に取り組んでいる」における肯定率 90%以上を維持する。 [100%] <p>②教員向け学校教育自己診断「学校の教育活動について、教職員で日常的に話し合っている」における肯定率 90%をめざす。 [84.0%]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教員向け学校教育自己診断「学校内で他の教員の授業を見学する機会がある」における肯定率 100%をめざす。 [94.0%] <p>③教員向け学校教育自己診断「各種会議が、教職員間の情報交換や意見交換の場として有効に機能している」における肯定率 90%をめざす。 [80.0%]</p>	<p>(1) ア①新型コロナウイルス感染症感染拡大により参加機会なし (一) ②「夏休み工作教室」はコロナ感染拡大により中止。(一) ③実習作品(木製ベンチ)を茨木市内の幼稚園 10 園に 15 台寄贈。(◎)</p> <p>(2) ア①コロナ感染拡大により参加機会なし (一) ・9 月に予定した授業参観を 1 月に延期し実施を計画したが、コロナ感染拡大のため中止。(一) ②ホームページ更新 83 回 (○) 次年度以降も、生徒ならびに学校生活の様子を広く紹介する。</p> <p>(3) ア①生徒向け学校教育自己診断の肯定率は 85.3%(◎) ・保護者向け学校教育自己診断の肯定率は 100%(◎) 次年度以降も生徒にとって、卒業後を見据え前向きに取り組める教育活動を展開する学校をめざす。 ②教員向け学校教育自己診断の肯定率は 90.9%(◎) 生徒情報を共有し、個に応じた教育の提供を継続する。 ・教員向け学校教育自己診断の肯定率は 82.6%(△) 相互授業見学の促進を図り、好事例を共有する。 ③教員向け学校教育自己診断の肯定率は 91.3%(◎)</p>

府立茨木工科高等学校 定時制の課程

			<p>イ①生徒向け学校教育自己診断「災害時の行動について知らされている」における肯定率90%以上をめざす。[66.7%]</p> <p>②産業医による校内巡回点検(年2回)および機械工場、自動車工場の定期点検の実施により、安全な学習環境を保持。[すべて実施]</p>	<p>イ①生徒向け学校教育自己診断の肯定率は、76.5%(△)</p> <p>災害時の行動について意識を高める。</p> <p>②産業医による校内巡回点検2回実施(○)</p>
4 働き方改革への取り組み	<p>(1) 会議の目的を明確化し効率化を図る ア 会議資料のデータ化、ICT活用による効率的な運営</p> <p>(2) 定時退庁の促進及び有効な休暇取得の促進 ア 働きやすい職場環境づくり イ ハラスメント防止に対する意識の啓発</p>	<p>(1) ア①情報の共有を進め、業務の効率化を図る。</p> <p>(2) ア①業務の分散化を図り、健康増進・ストレス解消に向け、働きやすい職場環境を実現する。 イ①各種ハラスメントについて責任ある行動を求める。</p>	<p>(1) ア①教員向け学校教育自己診断「各分掌や学年間の連携が円滑に行われ、有効に機能している」における肯定率90%以上を維持する。[92.0%]</p> <p>(2) ア①教員向け学校教育自己診断「教職員の適正・能力に応じた校内人事や校務分掌の分担がなされ、教職員が意欲的に取り組める環境にある」における肯定率90%をめざす。[84.0%]</p> <p>イ①教員向け学校教育自己診断「教職員間の相互理解がなされ、信頼関係に基づいて教育活動が行われている」における肯定率90%以上を維持する。[96.0%]</p> <p>・教員向け学校教育自己診断「この職場においては、教職員の服務規律への自覚が高い」における肯定率100%をめざす。[91.7%]</p>	<p>(1) ア①教員向け学校教育自己診断の肯定率は86.4%(△)</p> <p>会議の連携および業務の効率化を図る。</p> <p>(2) ア①教員向け学校教育自己診断の肯定率は78.3%(△)</p> <p>目標達成に向け人員配置の工夫を行う。</p> <p>イ①教員向け学校教育自己診断の肯定率は90.9%(○)</p> <p>次年度以降もハラスメントのない職場となるよう協力体制を維持する。</p> <p>・教員向け学校教育自己診断の肯定率は90.9%(△)</p> <p>目標の100%となるよう行動および意識の醸成に努める。</p>